

令和5年度 学校評価最終報告

西東京市立栄小学校

(1)ICTを活用した授業づくりを推進する。

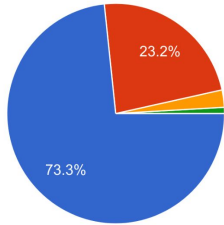
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

タブレットを使った学習は、分かりやすく、楽しかったですか。

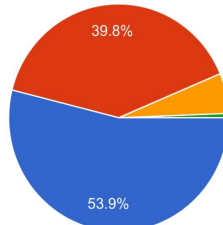
お子様は、タブレットを学習に活用できるようになってきましたか。

学習にタブレットPCを活用したか。

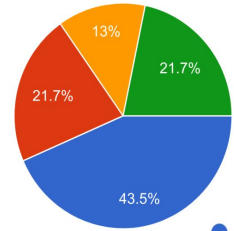
9月



児童



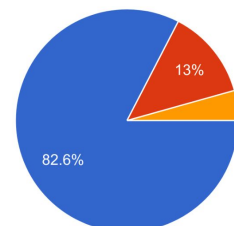
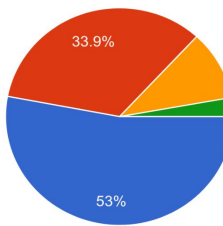
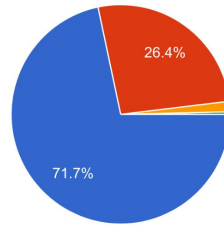
保護者



教員

● 毎日活用した。
● 2日に1回活用した。
● 週に1回活用した。
● 2週に1回活用した。

1月



1月の児童アンケートでは「タブレットを使った学習は、分かりやすく、楽しかったですか。」という質問に「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した児童の割合は98%となりました。本校ではタブレット端末を学習に効果的に取り入れた授業づくりに取り組み、学習の道具として活用しています。保護者アンケート「お子様は、タブレットを学習に活用できるようになってきましたか」で「ややあてはまらない」が6%から11%と微増したのは、タブレットの使い方で気になる点がでてきているととらえました。活用ルールなどを学校でも指導しながら、履歴の確認を定期的に行うなど、ご家庭にご協力いただきながら学習を進めてまいります。教職員一同、これからも学習の道具としてタブレット端末を取り入れながら基礎学習の定着と学力向上に努めてまいります。

(2)“主体的・対話的で深い学び”のある授業づくりを行う。

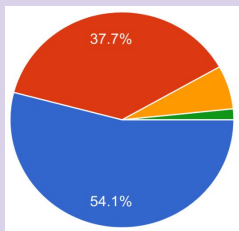
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

めあてを意識して学習していますか。

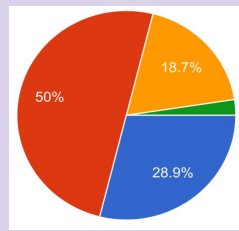
お子様は、意欲的に学習に取り組んでいますか。

学習スタンダードを意識し、めあてと振り返りを意識して指導したか。

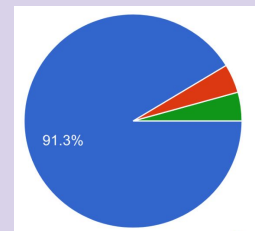
9月



児童



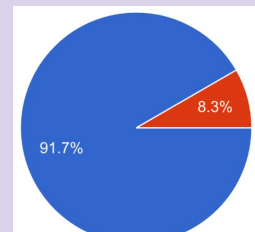
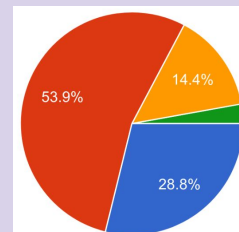
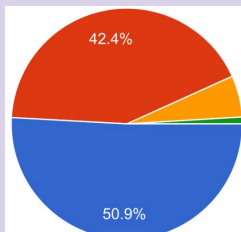
保護者



教員

● 毎日意識した。
● 2日に1回意識した。
● 週に1回意識した。
● 2週に1回意識した。

1月



教員の「学習スタンダードを意識した指導」の項目では、9月に比べ、1月の結果は「毎日意識した」「2日に1回意識した」の割合を合わせると100%になりました。教員が日々の授業で「めあてと振り返り」を意識していることがわかります。児童の「めあてを意識して学習していますか」の項目では、「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた割合が90%をこえています。保護者アンケートの肯定的評価の割合は80%をこえ、意欲的に学習に取り組める児童が増えていることがわかります。これからも教員と児童で習得すべき知識や学習に向かう力を確認し、めあてを意識して学習に取り組んでまいります。

(3) 読書好きの児童を育成する。

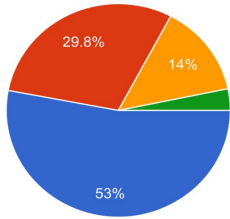
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

朝読書の時間や図書の時間にすすんで読書をしていますか。

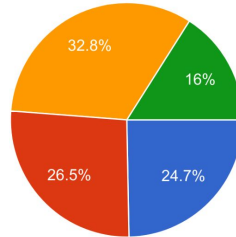
お子様は、すすんで読書をしていますか。

朝読書・図書の時間を確実に実施したか。

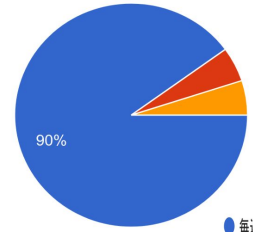
9月



児童

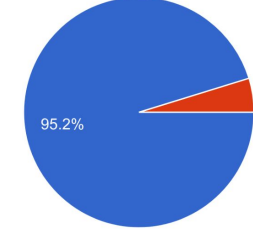
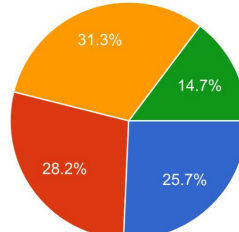
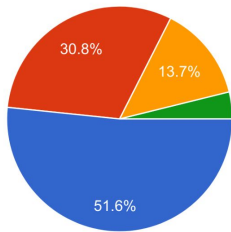


保護者



教員

1月



児童「朝読書の時間や図書の時間にすすんで読書をしていますか」には8割の児童が肯定的な回答をしています。保護者の回答に関しては、9月・1月ともに肯定的な回答をした人の割合が50%前後となっています。本年度は朝読書や読書旬間、もぐらの会や保護者の方による読み聞かせや、異学年での読み聞かせを行いました。ご協力ありがとうございます。アンケートの結果から教員側の取り組みが本好きの児童の育成につながっていることが分かります。しかし、読書に抵抗感をもつ児童の割合に9月・1月で変化がなく、固定化していることもわかります。学校側の取り組みと合わせて、家庭でも読書をする機会がつけられるような呼びかけをしてまいります。

(4) 基礎的な学力を身に付けさせる。

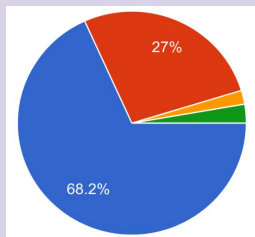
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

漢字の学習や算数の学習は、よく分かりますか。

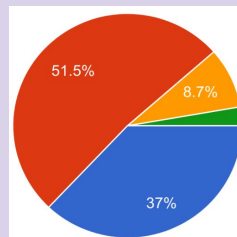
お子様は、漢字の読み書きや算数の力が伸びていますか。

漢字の読み書き及び算数の知識・技能の到達度が80%以上の児童の割合はどのくらいか。

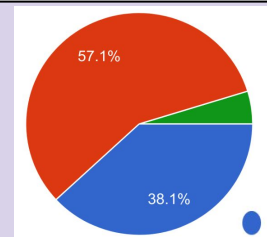
9月



児童

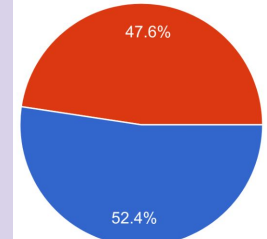
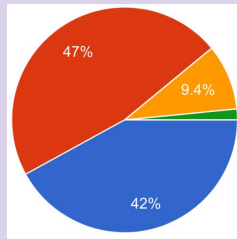
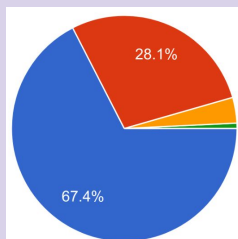


保護者



教員

1月



9月・1月のアンケートを比較すると、教員の肯定的評価が増加したことが分かります。教員はテストの点数を集計し、客観的データから到達度を算出しています。テストにおける理解度、到達度の伸びが確実に数値として表れたと言えます。その要因の1つとして、タブレットを始めとした教育活動に積極的にICT機器を活用したことが挙げられると考えます。私達は昨年度より、週に1度「研究夕会」を行い、タブレットを効果的に活用した分かる・楽しい授業づくりを追究してきました。また、校内研究でもタブレットの活用方法について研鑽を深めてきたことも、成果として表れたと捉えています。今後も、教員同士が切磋琢磨し、児童の学力向上に努めます。

(5) 人権教育の推進

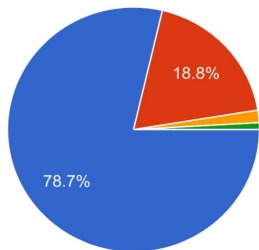
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

先生はしっかりと話を聞いてくれますか。

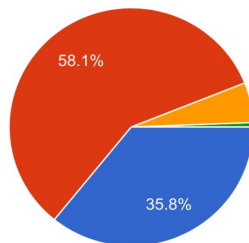
学校は、お子様の話をていねいに聞き、受け止めていますか。

「西東京市あったか先生」を意識し、指導を行ったか。

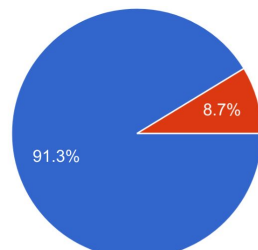
9月



児童



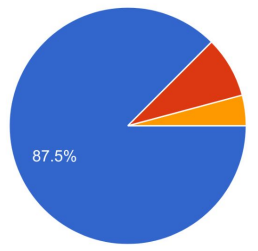
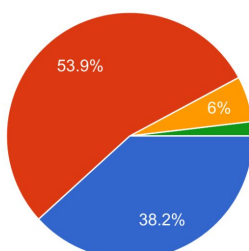
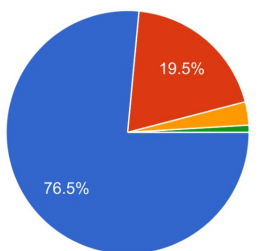
保護者



教員

● 毎日行った。
● 週に2回行った。
● 週に1回行った。
● 月に1回行った。

1月



9月、1月共に、児童・保護者・教員の肯定的な評価が90%以上という結果となっています。各学期に行っている「お話タイム」で「ふれあいアンケート」を行い、担任が児童一人一人と面談を行うことで、児童の悩みや不安を解消できるように努めています。また、児童への言葉かけの際の言葉遣いや体罰は絶対しないという人権を大切にする意識をもって接することで、児童が安心して学校生活を送れるようにしていきたいと思っております。

(6) 自立心及び自律心を育成する。

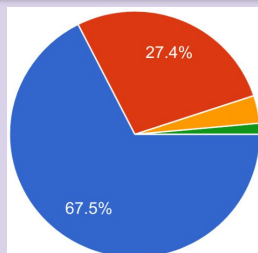
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

自分のことは自分で行き、友達と協力していますか。

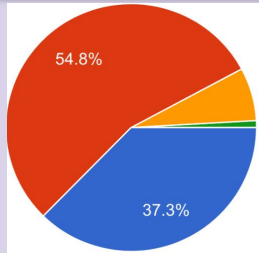
お子様は、自分のことは自分で行き、友達と協力していますか。

自己選択・自己決定の指導を意識して行ったか。

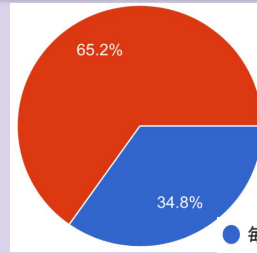
9月



児童



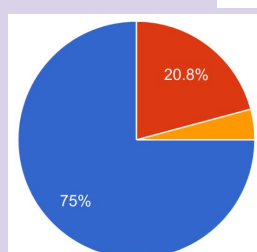
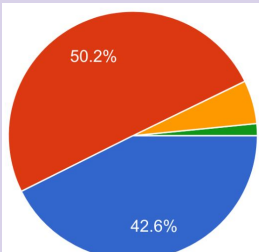
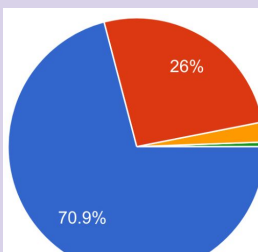
保護者



教員

● 毎日行った。
● 週に2回行った。
● 週に1回行った。
● 月に1回行った。

1月



「自分のことは自分で行き、友達と協力していますか」という問いに対し、肯定的に捉えている児童が95%以上でした。日々の学校生活に慣れ、一年を通した行事や学級の活動では、友達と協力して活動することができました。学校では、学年に応じて自分で判断し、行動できるよう指導しています。困った時どう行動すればよいのか、仕事を任せられた時は何を優先すればよいのか、課題を解決する際に何をすべきか、すべて指示をするのではなく、子供たちが自ら考え、友達と協力しながら取り組んでいけるよう指導しています。

(7) 自己肯定感及び自尊感情を育成する。

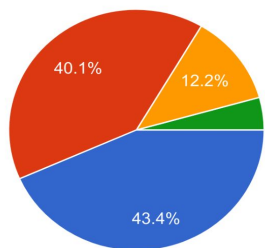
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

先生や友達から褒められていますか。

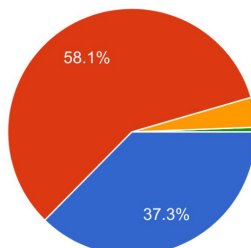
学校はお子様の良いところを認め、伸ばす指導をしていますか。

活動場面で振り返りを行い、肯定的評価を行ったか。

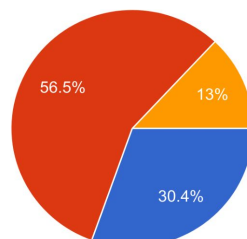
9月



児童



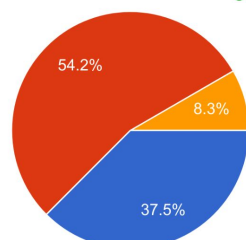
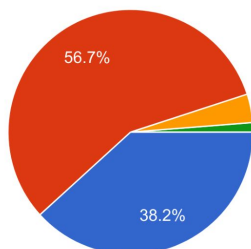
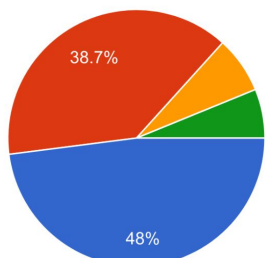
保護者



教員

● 毎日3回行った。
● 毎日1回行った。
● 2日に1回行った。
● 週に1回行った。

1月



9月、1月共に、保護者の肯定的な評価が90%以上という結果になっています。教員の肯定的な評価は、9月に比べて1月には90%以上となり、意識して取り組んできたことが数値として表れています。また、児童に対する「先生や友達から褒められていますか。」という質問では、肯定的な評価が、約83.5%から約87%と増加しましたが、まだ「褒められている。」「認められている。」という実感がもてないこともあるようです。引き続き、児童のよいところを認め、伸ばせるような場を数多く設定できるようにしていきたいと思えます。

(8) いじめの未然防止、早期発見、早期対応を行う。

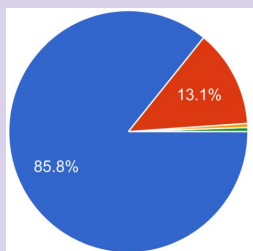
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

友達を大切にしていますか。

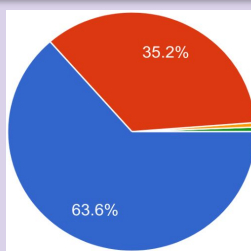
お子様は、友達と仲良くしていますか。

いじめの未然防止、早期発見、早期対応を心がけたか。

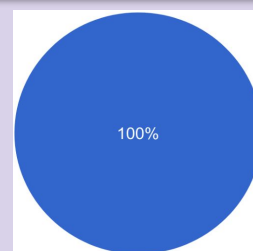
9月



児童



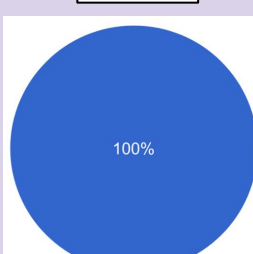
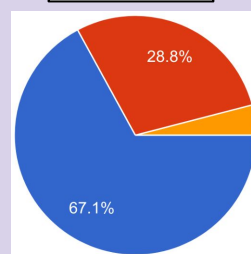
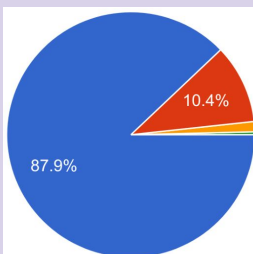
保護者



教員

● 毎日心がけた。
● 週に2回心がけた。
● 週に1回心がけた。
● 月に1回心がけた。

1月



教職員のいじめ未然防止の取り組みは今回も100%となり教職員が意識し取り組んでいることが確認できました。児童と保護者のアンケート結果では、それぞれ「当てはまる」の割合が増えた一方で「ややあてはまらない」の割合も増えていたので、今後、授業や日頃の生活の中で児童へ指導していくことが必要だと感じました。

(9) 体育科の授業改善を通し、運動好きな児童を育成する。

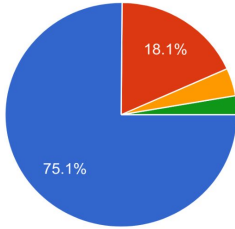
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

体育の授業は、楽しいですか。

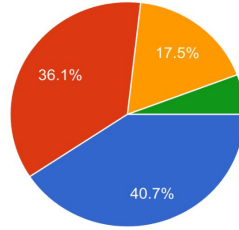
お子様は、すすんで運動に取り組んでいますか。

体育の授業改善を意識して授業づくりを行ったか。

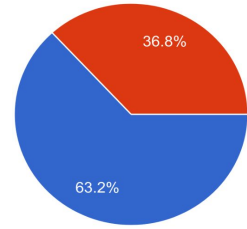
9月



児童



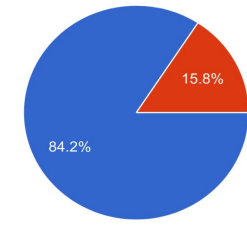
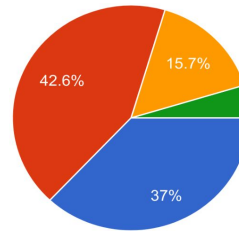
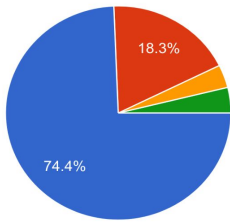
保護者



教員

● 毎単元行った。
● 2単元に1回行った。
● 3単元に1回行った。
● 学期に1回行った。

1月



1月の教員アンケート結果を見ると、「授業改善を意識して毎単元授業づくりをした(青)」と回答した割合が、9月のアンケートに比べて21%増加しています。児童が「体育が楽しい」と感じるためには、教員が楽しい授業づくりを行うことが必要不可欠です。教員の意識が高まりました。体育が楽しいと肯定的な回答をした児童の割合が9月・1月ともに90%を超える結果を得ることができたのは、教員の授業づくりに対する努力の成果であると捉えています。年間を通した体育的活動も、運動が楽しいと感じる児童の育成に大きく影響していると感じます。大縄跳び、短縄、持久走への取り組みを今後も継続していきます。また、コミュニティスクールにおける「地域人材の活用」も、体育学習のさらなる充実につなげていきたいです。

(10) 健康教育の充実を図る。

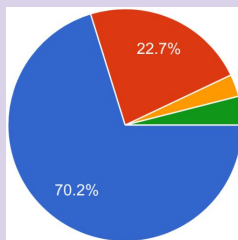
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

けがや病気にならないように気を付けていますか。

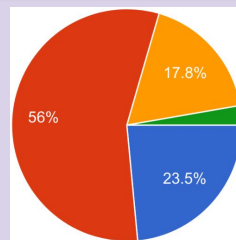
お子様は、健康に対する意識が高まっていますか。

健康指導を行ったか。

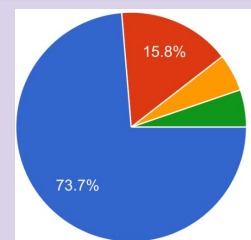
9月



児童



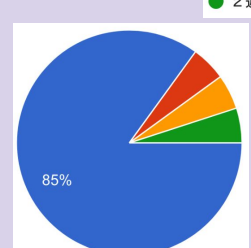
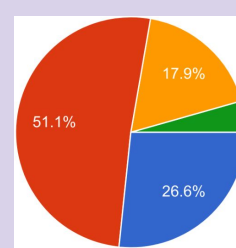
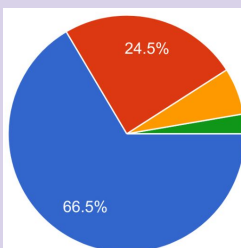
保護者



教員

● 毎日行った。
● 2日に1回行った。
● 週に1回行った。
● 2週に1回行った。

1月



9月と1月を比べると教員は90%以上が「毎日」か「2日に1回」との回答ですが児童、保護者ともに肯定的な回答が90%以上ではあるものの実質減っています。児童が「あてはまる」と思っている保護者の視点では「ややあてはまる」が多く意識の違いが感じられます。感染症予防の意識と行動の変化が反映されたかと思われませんが、学校では2学期以降いろいろな感染症の発症が続いているので、病気の予防に関する指導が増えました。また、安全な行動に関してはけがを未然に防ぐことができるよう指導していきます。

(11) 安全管理・教育環境の整備を行う。

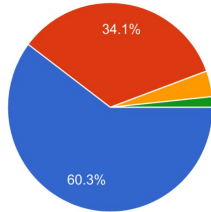
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

「さかえしょうのよいこのきまり」を守り、安全に生活していますか。

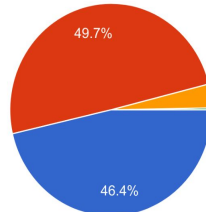
お子様は、「栄小のよい子のきまり」を守り、安全に生活していますか。

「安全・人権・美化」の視点で教育環境を整えたか。

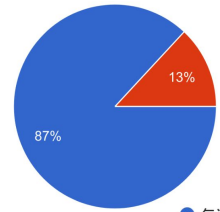
9月



児童



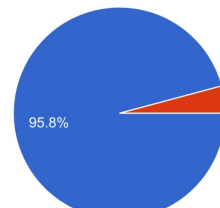
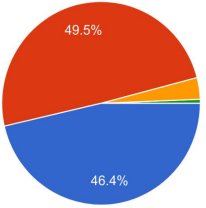
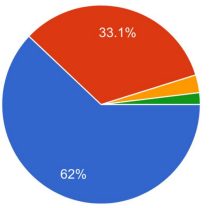
保護者



教員

● 毎週整えた。
● 毎月整えた。
● 2ヶ月に1回整えた。
● 学期に1回整えた。

1月



教職員の9月と1月のアンケート結果を比べると、数値に大幅に変化が見られ、教職員の意識が高まったことがわかります。児童、保護者の回答も肯定的な意見が9割を超えていて良かったと思います。ただ、児童の中に「栄小のきまりを守る」ということに対し「あてはまらない」という意見があることは課題であり、今後の指導改善が必要です。

(12) 他者との関係づくりの指導の充実を図る。

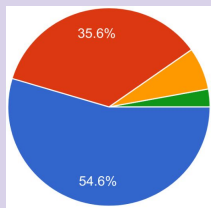
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

すすんで挨拶をし、丁寧な言葉遣いをしていますか。

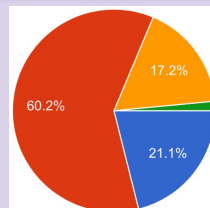
お子様は、挨拶を積極的に行っていますか。また、丁寧な言葉遣いをしていますか。

挨拶や言葉遣いに関わる活動を考案・実施したか。

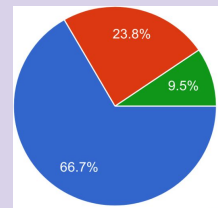
9月



児童



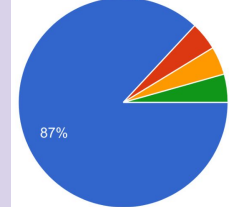
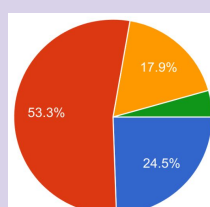
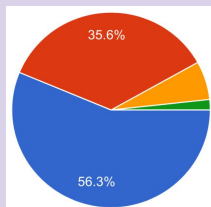
保護者



教員

● 毎月実施した。
● 2ヶ月に1回実施した。
● 3ヶ月に1回実施した。
● 学期に1回実施した。

1月



「すすんで挨拶をしている」「丁寧な言葉遣いをしている」という質問に対し、児童の結果は「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答が9月、1月共に90%以上でした。今年度も、毎学期児童会が中心となって「挨拶運動」を行いました。各クラスで気持ちの良い挨拶ができるよう工夫して挨拶運動に取り組みました。言葉遣いについては、その都度適切な言葉遣いだったのかを振り返り、相手の気持ちになって発言するよう指導しています。挨拶も言葉遣いも日々の積み重ねです。今後も継続的に指導を続けていきます。

(13)「皆で育てる」という協働意識を強化する。

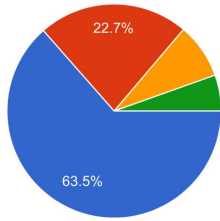
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ ややあてはまらない ■ あてはまらない

学校のことを、家で話していますか。

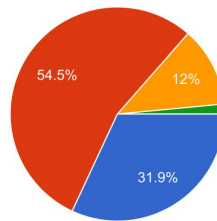
学校便り、学年便り、学級便り、HP、メール配信などを通して、学校の様子が分かりますか。

学校便り、学年便り、学級便り、HPなどで学校の様子を伝えたか。

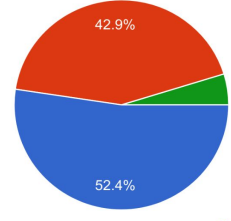
9月



児童



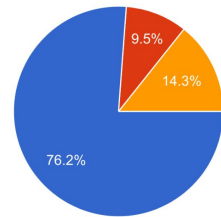
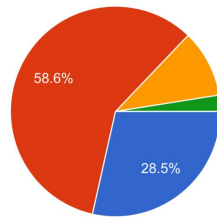
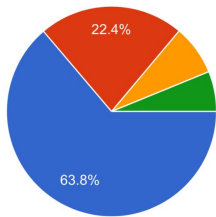
保護者



教員

● 十分伝えた。
● ある程度伝えた。
● あまり伝えなかった
● 伝えるのが不十分だ

1月

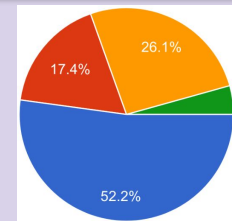


教職員一同、9月の結果をもとに、「学校からのお知らせ」、「日々の様子」をこまめにお伝えすることを課題に取り組みできました。昨年度より、学校だよりに学年のお知らせを一本化することで情報の統一を図り、わかりやすく学校からの情報を伝えるよう取り組んでいます。タブレットのクラスルームを活用した情報発信も発達段階に沿って行っています。HPでは、日頃の授業はもちろん、地域の方を招いた体験授業などの様子もその都度紹介しています。これからも、保護者、地域、学校が協働し子供たちを育ていけるよう尽力してまいります。

(14) 教職員に時間に関するコスト意識を浸透させる。

タブレット等を活用し、日々の業務改善、効率化を行ったか。

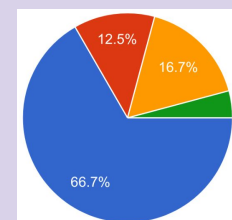
9月



教員

● 毎日意識した。
● 2日に1回意識した。
● 週に1回意識した。
● 月に1回意識した。

1月



9月の結果と比べ「タブレットやICT機器を活用した業務改善、効率化」については「毎日意識した」という回答が14.5%増加しました。「2日に1回意識した」という項目を合わせると、79.2%（約8割）が日頃の業務改善にICTを活用していることがわかります。資料の作成・配布も、紙からデータへと変わってきています。アンケートの回収等も、紙で回答し集計することがなくなり業務の効率化を図ることができました。今後も、ICTを活用した業務改善に取り組んでいきます。